

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時： 平成28年11月21日（月） 午後1時30分

場所： 男鹿市役所 3階 第1会議室

第1回男鹿市地域公共交通活性化協議会

平成28年11月21日（月） 午後1時30分

出席委員（20人）

4号委員	田森 清美	佐々木 明	山本 貴紀	糸井 博
	久保市 隆			
5号委員	船木 宏	白幡 克見	石垣 禮之助	高桑 正夫
	佐々木 一義	高桑 繁	太田 文博	佐藤 通広
	古仲 宗雲			
6号委員	日野 智			
7号委員	杉本 俊比古	佐藤 透		

代理出席（4人）

	（委員名）	（代理名）
2号委員	相馬 真一	松倉 和美
4号委員	塩原 敬	有谷 浩
	齊藤 芳博	児玉 樹

欠席委員（1人）

1号委員	柳谷 英俊	
4号委員	田原 剛美	鎌田 栄光
5号委員	仲村 盛吉	

出席事務局職員

① 総務企画部長	船木 道晴
② 企画政策課長	藤原 誠
③ 企画政策課主幹	太田 穰
④ 企画政策課主査	三浦 大成
⑤ 企画政策課主事	加賀 有陽

平成 28 年度第 2 回

男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時 平成 28 年 11 月 21 日

午後 1 時 30 分より

場所 男鹿市役所 3 階 第 1 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議事

- (1) 平成 28 年度上期における男鹿市単独運行バス等の運行状況及び平成 29 年度男鹿市単独運行バスの運行方針について

(資料 1 ～ 3)

3. 報告事項

- (1) 男鹿南線の運行状況について

(資料 4)

- (2) 補助金に関する状況について

(資料 5)

- (3) J R 男鹿線 100 周年について

(資料 6)

4. その他

- (1) 今後のスケジュールについて

5. 閉 会

(午後 1 時 30 分開会)

○事務局（藤原）

定刻になりましたので、ただいまから、平成 28 年度、第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。本日の総会でございますが、14 時 30 分頃の終了を予定しております。開会にあたりまして、資料の御確認をお願いいたします。担当から確認させていただきます。

○事務局（太田）

本日お手元に配布してございます資料は、次第、出席者名簿、そして事前にお届けしておりました資料 1 から 6、そして関連資料でございます。

なお、資料 4 及び 5 について数値に訂正がございますので差替え資料をお手元に用意しております。進行の途中で落丁等お気づきの点がありましたらお申し出ください。また、出席者名簿中の秋田地域振興局地域企画課長におかれましては、所用により本日欠席となっております。

○事務局（藤原）

それでは次第により進めさせていただきます。ここからの議事進行につきましては、会議規則により日野会長よりお願いいたします。

○日野会長

それでは議事を進めてまいります。まず、議事（1）でございます。協議会規約に規定により、2 名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法についていかがいたしましょうか。

(事務局一任の声あり)

○事務局（藤原）

それでは事務局から御提案申し上げます。糸井委員と佐藤透委員とを推薦したいと思います。

○日野会長

事務局より糸井委員と佐藤透委員を推薦する声があったので、お諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○日野会長

御異議がないようですので、議事録署名委員は糸井委員と佐藤透委員に決定いたしました。よろしくお願いいたします。

それでは議事に移ります。事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

事務局企画政策課の加賀と申します。それでは私の方から説明させていただきます。まず、平成 28 年度上半期市単独運行バスの概要でございます。今年度の上半期につきましては、前年度比でマイナス 3.9 パーセントの利用者数となりました。市の人口も減少がみられる中、バスの利用者数へも影響が出ているものと考えられます。委託費につきましては、前年度から上昇傾向にあります。それに対しまして、使用料の収入は、昨年度美里小学校児童の定期利用が開始されましたので一旦は増加しておりますが、今年

度は、再び減少に転じているところであります。

それでは、はじめに五里合線について御説明いたします。五里合線につきましては、五里合地区からＪＲ脇本駅までの路線となっております。冒頭にて、利用者数は減少傾向にあると申し上げましたが、今年度上半期の五里合線に関しましては利用者数が増加しております。数値にして６．４パーセントの増となっております。この状況につきまして幹事会の際に御指摘頂戴しておりましたが、運行実績から調査いたしましたところ、昨年度に比べまして脇本地区のスーパー近くにあるバス停にて降車される方が増加しておりましたので、今年度は買い物利用が増加したものと考えております。五里合線につきましては、児童の通学利用も含め以前からも多く御利用いただいている路線でしたので、実態を見極めつつ、今後も継続して運行し、さらに御利用いただけるようにしたいと考えております。

続きまして、男鹿中地区からＪＲ羽立駅までを運行する男鹿中線についてであります。今年度は全体的に減少しておりましたが、６月のみ突出して利用客数が多かったもであります。男鹿中線につきましては、全体の利用者数が少ないですので、多少の増減でグラフが突き出る形になってしまいますが、状況を調査しておりますので報告いたします。こちらにつきましては、病院を利用される方々が、朝は秋田中央交通さんのバス路線やタクシーまたは私用車の乗合にて病院へ向かい、帰りは男鹿中線を利用する場合があることが分かっております。男鹿中線につきましては、上りの便は多く利用されている反面、下り便の利用率が低い状態でしたが、デマンド便の予約方法の周知などを実施し、病院や買い物帰りの利用につなげたいと考えております。

次に、安全寺線であります。こちらは安全寺地区から北浦市民センターまでの便ですが、昨年度に比べまして前年度比２０パーセントを超える減少率となっております。状況といたしましては、安全寺地区から利用される方が大幅に減少しております。今年度は乗客に対する個別のアンケート等を実施しておりませんので、詳細な状況についての説明を述べられず申し訳ございませんが、真山や西水口地区に比べましても安全寺地区がとくに減少幅が大きかったということでもあります。安全寺線につきましては委託費も増加傾向にあることから、経由地である温泉施設の利用等を含め、何らかの形で対策を練っていく必要がございます。

次に、入道崎線であります。こちらの路線に関しましても利用者数は昨年度比で１０パーセント減となっており、毎年度ほぼ同程度の幅で減少しているところであります。入道崎線に関しましては、固定客による利用が大部分を占めていると伺っておりまして、人口減少が進む中で、新たな利用客の獲得が望まれるところであります。

次に、戸賀加茂線についてであります。こちらも先に御説明いたしました入道崎線と同様、毎年度同程度の減少がみられるところであります。さらに、固定客による利用が大半であることも含めまして入道崎線と似た実態がみられます。この２路線に関しましては、夏場の観光利用が多くあると伺っておりますので、観光方面でのアピールも必要であると考えられます。

最後に、潟西北部線になります。昨年度より美里小学校児童の利用が始まった路線となっております。利用者数は昨年度とほぼ横ばいとなっております。使用料収入は減少しているところでありますが、今年度は１００円区間での利用が多くみられましたので、

利用者層による影響もあると考えております。

各路線に関する状況は以上となりますので、平成 29 年度の運行方針について説明いたします。運行にあたりましては、男鹿市公共交通総合連携計画にございますとおり、生活路線の維持を大前提としつつ、現在のダイヤを極力維持してまいりたいと考えております。現在のダイヤにつきましては、秋田中央交通様により運行されていた頃より、皆様の利用率が高い時間帯に絞られたダイヤとなっており、通学、通勤、通院及び買い物対応といたしまして、最低限維持してまいりたいというものであります。さらに五里合線、安全寺線、潟西北部線及び今年度から運行を開始しております男鹿南線につきましては通学対応便となりますので、通学時間に極力配慮したダイヤ編成としてまいります。また、通学される学生の皆様をはじめ、市外へ通院されている高齢者の方も多くいらっしゃることから、年度末にかけて予定されております J R 男鹿線のダイヤ改正に合わせまして、各便への円滑な接続を考慮したダイヤの調整を行ってまいります。つきましては、各路線において今年度の運行系統や便数等維持する形で先に述べましたダイヤ調整を行いつつ来年度の運行を行っていきたいと考えております。来年度運行を予定しております各路線の系統図を添付しておりますので、合わせて御覧ください。

補足の資料となりますが、市内路線バスの補助年度別利用者数推移及び J R 各駅乗客数推移をお配りしております。路線バスにつきましては 10 月から翌年 9 月までの補助年度による資料となっております。市単独運行バスにつきましては先に御説明したとおりであります。民間事業者様の路線バス利用者数につきましても若干の減少がみられますが、昨年度に減便があったこと等が理由であると考えられます。J R 各駅の乗客数は昨年度からほぼ横ばいとなっております。このあと報告いたします J R 男鹿線 100 周年イベントと合わせまして、引き続きバスも含めた公共交通の利用をアピールしてまいりたいと考えております。以上にて議事（１）の説明を終わりますので、よろしくお願いいたします。

○日野会長

ただいま事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

私から 1 点質問よろしいでしょうか。安全寺線と戸賀加茂線の委託費増の要因について説明をお願いできますか。

○事務局（加賀）

こちらの 2 路線につきましては、車両の修繕や減価償却費の増加が主な要因となっております。併せて人件費についても増加がみられるところであります。今年度はほとんど影響しておりませんでしたが、昨年度までは軽油等の燃料費も一定程度の影響があったものです。

○糸井委員

先ほど説明のあった五里合線について、脇本地区のスーパーは何年も前からあるけれども、人口も減少している中で利用者は増加しているという。ここはもっときめ細やかな周知があればさらに利用者の増加につながるのではないかと考えられる。これは公共交通の利用者増への大きなヒントになると思う。

○事務局（加賀）

今年度、五里合線の利用者数が増加に転じたのは調査していた中でも驚いた点であり

ました。糸井様がおっしゃられたとおり、本事例をヒントとしつつ、毎年度全戸配布している時刻表へ利用の仕方の説明や主要施設近くのバス停を掲載するなど、予算は限られてはありますが、その中で実施したいと考えございます。2月の総会の中でも改めて御説明できればと考えております。また、増加の要因についても地域の皆様からお話を伺うなどして掘り下げていくべきと存じております。

○日野会長

そちらに関しても、ぜひよろしく願いいたします。他に御質問や御意見はございませんか。

○太田委員

委託費の増加費になっております車両の減価償却費について詳しく説明願えますか。

○事務局（加賀）

購入した車両に関する会計の一方法となりますが、購入した車両費をその年度にすべて当てるのではなく、1,000万円の車両に対して初年度は600万、次年度は300万、最後に100万と計上する形となります。

○事務局（三浦）

補足としまして、車両の維持管理及び更新の費用が増加しているということでありす。古くなった車両の更新費用が増加しているとお考えいただければと思います。

○日野会長

他に御質問はございますか。

○梶原委員代理

先ほど、五里合線での利用者数増加の話がございましたが、五里合地区も高齢化が進んでいる地区でございます。現在、警察サイドといたしましても、免許返納について様々取り組み行っているところでございますが、免許返納者へバスの状況を周知する必要もあります。免許を返納される方は理由があって手続きにこられますが、免許を返納したあとの交通手段に不安を感じておられるようですので、その後の交通手段の確保は非常に大事だと考えております。免許返納者の数は右肩上がりに増えておりまして、去年は年間通して80件程度でありましたが、今年はすでに100件を超えようかというところでございます。このことから高齢者へのバス運行状況の周知や、利用のしやすいダイヤの編成というのは利用の促進につながる一つの着眼点になるかと思えます。

○事務局（加賀）

ダイヤの編成にあたっては通学通勤、通院をはじめとした生活交通路線の確保を重点に行います。また、免許を返納された方については、タクシーの10パーセント割引や秋田中央交通様のバスのお得な回数券などの制度もございますので、それらの周知方法も含めまして今後検討していきたいと考えております。

○日野会長

ただ今の御指摘は大変重要なものだと思います。免許を返納しに来られる方へ案内等差し上げているということですが、資料は用意してございますか。

○梶原委員代理

口頭にて説明しています。

○日野会長

それでは市の方で資料作成を行い、その資料を用いて警察で説明してもらうことも可能だと思いますので、併せて検討いただければと思います。私からもう 1 点質問よろしいでしょうか。先ほど説明のあった男鹿中線の下り便の利用状況について、いったん増加した後はまた減少していましたが、その点については調査しておりましたか。

○事務局（加賀）

全地区でのヒアリングが行えておらず、利用してみてもの感想、意見までは聴けておりませんでした。

○日野会長

可能であればその点についても調査をお願いします。他には御質問御意見などございますか。質問等がないですようですので、お諮りいたします。本案に御異議はございませんか。

（異議なしの声あり）

○日野会長

御異議がないようですので、本件については本案のとおり承認されました。

それでは、報告事項（１）に移ります。事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

引き続き私の方から説明させていただきます。市単独運行バス男鹿南線の 10 月の運行状況についてであります。男鹿南線については、昨年度より本総会で協議させていただいておりまして、本年 10 月 1 日より市単独運行バスとして運行しているところであります。今回は 10 月の 1 か月分について、取り急ぎ数値の集計のみしたのですが、状況報告ということで御説明いたします。男鹿南線については、みなと市民病院から門前までの本系統と、男鹿駅前から海洋高校前までの海洋系統がございます。本系統につきまして、収支としましては赤字となっておりますが、1 便当たりどの程度の乗客が乗っているかを示す平均乗車密度は 3.6 人となっております、多くの方に利用いただいているのであります。例としまして、市単独運行バスの中でも状況の良い五里合線でも平均乗車密度は 1 人台でありますので、男鹿南線はさらに御乗車いただいていることとなります。さらに海洋高校系統につきましては、平日 1 便のみの運行ではございますが、ほぼ毎回 20 人以上は乗っていただいている状況であります。

各停留所の乗降状況であります。上り便は各地区から御乗車いただいております、目的地として男鹿駅前、みなと市民病院、郵便局前の順に多くなっております。郵便局前は近くにスーパーがございますので、通学、通院、買い物に多く利用されているといった状況です。下り便につきましては、男鹿駅前からの乗車が最も多く、次いで郵便局前となっております。降車先としましては、海洋高校前が最も多く、以下は各地区のバス停となっております。

最後に、今回の運行にあたりまして、夕方下り便を 1 便追加しておりましたが、こちらの便の利用者数は 20 名でありました。乗車バス停は男鹿駅前もしくは郵便局前のみであり、通学や買い物に利用されていると推測できます。こちらの便に関しましては引き続き利用の状況を調査してまいりたいと考えております。

○日野会長

ただいま事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

(男鹿南線収支状況について指摘する声あり)

○事務局(加賀)

申し訳ございません、資料の中の収支状況について、マイナスとすべきところがプラスとされておりましたので訂正いたします。

○日野会長

よろしいでしょうか。それでは、報告事項(2)について、事務局から説明願います。

○事務局(加賀)

それでは資料5を御覧ください。こちらは差替えがありました資料となっておりますが、資料の送付時より申請状況に進捗があったことによるものであります。しかしながら、交付の決定を受けておりませんので、今年度は全体として概ねこの程度になる予定という形で報告いたします。

まず、東北運輸局様や秋田県様に申請しております各補助金についてです。皆様に毎年協議いただいております地域内フィーダー系統に対する補助ですが、今年度から五里合線が加わったこと、また、秋田県様の方で新たに地域内フィーダー系統に対する補助を新設したことにより交付額は増える見込みです。例年のマイタウンバスに対する補助につきましましては、五里合線がフィーダー系統に移行したことを主な要因とし、減額となる見込みであります。

続きまして資料5-2、こちらは当市より市内を運行するバス事業者に対する補助の概要となっております。こちらに関しましては、前年度より若干の減となっておりますが、要因として地域内フィーダー系統に対する補助額が増加したことにより、市単独補助対象経費が減じられたことがあげられます。市単独補助金に関しては、3月議会へ提案ののち、審議を経て交付の予定となっております。今年度の補助金に関連する概要説明は以上であります。よろしくお願いいたします。

○日野会長

ただいま事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは報告事項(3)について、事務局から説明願います。

○事務局(加賀)

それでは資料6を御覧ください。本年12月16日にJR男鹿線が全線開通100周年を迎えます。これに伴い、JR様では様々な催しを企画させておりますので、概要を紹介させていただきます。

まず、12月17日、土曜日、男鹿駅にて100周年記念イベントが開催されます。こちらでは男鹿海洋高校生徒によるなまはげ太鼓の演奏や、100周年記念写真展、各展示ブースの他、GAOとタイアップした展示や商工会様が御協力なさる物販コーナーも設けられるということで伺っております。次に、記念臨時列車の運行予定であります。イベントに合わせて、ストーブ列車「風っこストーブなまはげ号」が運行いたします。こちらは男鹿駅に停車中は見学可能であることに加え、指定席券を購入すれば乗車も可能と伺っております。また、来年2月のなまはげ柴灯まつり期間には臨時列車「リゾートなまはげ号」が、1月には体験イベント用臨時列車「体験・交流・学習号」が運行予定であります。加えて、記念入場券の作成やオリジナルロゴマークを車体へ貼付していくほか、男鹿線クイズイベントの開催も予定されているとのことです。私から概略の説明は

以上となりますが、本日 J R 様もお見えになっておりますので、補足説明をお願いできますでしょうか。

○ J R 販売促進課榎木

先週 18 日にプレスを行いました本イベントにつきまして、先ほど説明いただいた内容に補足いたします。17 日開催の男鹿駅まつりに際しまして、来賓の方々をお招きして記念式典を執り行います。また、男鹿駅への顔だしパネルを新設いたします。こちらはか海外の方への対応を考慮し、4 か国語対応となっております。当日は商工会様のご協力によりハタハタ汁なども振る舞われますので、ぜひ皆さまお越しくださればと存じます。

○日野会長

ただいまの説明について、質問や意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次第その他の今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

このあと 2 月頃に総会及び幹事会を予定しております。その前になりますが、12 月議会の審議が終了いたしましたら、来年度の運行に向けた準備も始めていく予定であります。また、幹事会の中でもお話出ておりましたが、公共交通の今後について皆さん危機感を持っていらっしゃる、バスはバス、ということではなく、市役所内だけでなく事業者様や各地区の皆様を含めた連携をとっていかなければならないということでもあります。今回、直ちに案を出して総会に諮るということではできませんでしたが、今後総会の中ではもちろん、機会を設けて検討の場をもちたいと考えております。現在の連携計画の期間は平成 30 年度までとなっており、その後は網形成計画となっておりまいますので、さらに皆様との連携を強化して、御協力をいただきながら計画の策定を行ってまいります。

○日野会長

この件につきまして御質問等はございますか。最後の連携に関しては非常に大事なことであり、総会の中でも皆様から様々な提案をいただき、議論をすすめていければと思います、よろしくお願いいたします。委員の皆様から他に何かございますか。

○糸井委員

この事業については、巨費を投じて行っているのだから、可能な限り住民、利用者の要望に応えつつ、喜ばれるものを作り上げていかなければ。日の出新報に島根県のバスに関する随想が載っていた。皆さんで知恵を出し合ってよりよくしていこうという、要望ではないですが、一言申し上げます。

○日野会長

この場も含め、住民の皆様からも意見をいただきながら議論を深めて、進めていかなければならないと思います。

その他に何か御意見等はございますか。それでは以上をもちまして、本日の議事日程を終了いたします。進行に御協力くださいます、大変ありがとうございました。

○事務局（藤原）

以上をもちまして第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を終了いたします。大変ありがとうございました。

（午後 2 時 33 分終了）

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 2 8 年 月 日

会 長

委 員

委 員